

飯南町総合戦略 施策実施状況報告書(H31.5時点)

全体

資料6

分野	基本方針	基本施策	施策番号	施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等
政策1 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる	施策1 結婚への意識を高める	若者の交流の場を広げる	1【新規】	「若者が考えるこれからの地域づくり会議」(仮称)事業	行政職員、事業者、町民など多様な主体の若者世代が、まちづくりの担い手としての意識を高め、町政に主体的に参画することを目的に、町の課題分析や必要施策の検討、提言を行う「若者が考えるこれからの地域づくり会議」(仮称)を設立・開催する。	地域振興課	実施中	平成30年度に全6回の人材育成塾を開催し、町民及び役場職員あわせて24名の参加があった。今年度についても同様に開催予定。
			2【拡充】	公民館が連携した「若者交流イベント」事業	若者の出会いの機会を拡大することを目的に、「アウトドア」「スポーツ」「料理」などの趣味をテーマにしたイベントを開催する。	住民課	実施中	公民館やマリエ・やしろとの連携による若者交流イベントを実施中。引き続き、出会い創出のため実施する。
			3【拡充】	コミュニケーションリーダー育成事業	コミュニケーション能力の向上を促進するリーダー育成、仲人としてのスキルアップを目的に専任講師を招いて研修会、講演会を開催する。	住民課	実施中	男性スキルアップセミナーを年2回開催。引き続きコミュニケーション能力向上のため継続実施する。
		4【拡充】	島根県と連携した啓発事業	島根県と連携し、若年層への結婚・妊娠・出産等に関する啓発事業(ライフプラン設計講座等)を行う。	住民課	実施に向け準備中(検討中)	島根県や関係団体と連携し、結婚後のライフプラン(経済的安心感)を提示し、結婚に対する意識向上を醸成する。	
	施策2 結婚の希望をかなえる	出会いの機会を創出する	5【新規】	ご縁の会事業	男女の出会いの機会創出や、コミュニケーション能力の向上を促進する仲人を「ご縁の会」として組織化し、結婚希望者の相談、婚活支援、紹介活動を推進する。	住民課	実施中	引き続き「ご縁の会」を推進する。
			6【新規】	縁結び支援員事業	結婚希望者の相談、婚活支援、紹介活動を専属的に担う縁結び支援員を配置する。	住民課	実施中	支援員を設置済み。引き続き支援員を配置する。
			7【拡充】	姉妹都市、友好都市との交流事業	姉妹都市伊丹市、友好都市大村市との人的交流を推進する。	住民課 産業振興課	実施中	【産業振興課】 伊丹市・・・伊丹緑化フェアへの町内からの出店、小学5年生が伊丹市を訪問するツアー実施した。 大村市・・・大村夏越まつりへ参加交流、夏に飯南町の小中学生が大村市訪問交流、冬に大村市の小中学生が飯南町を訪問交流を隔年で開催した。 【住民課】 引き続き、伊丹市・大村市と交流事業を推進する。(平成27年度に一度開催)
		8【新規】	結婚・出産祝い事業	結婚・出産に際して、結婚祝い金、出産祝い金を支給する。	住民課	実施中	引き続き、結婚・出産に対して祝い金を支給する。(第3子以降)	
	施策3 女性が自分らしく輝ける環境づくり	女性が自分らしく輝ける環境づくり	9【新規】	子育て協力企業支援事業	企業等と連携した仕事と子育ての両立支援の推進を目指し、育休制度などを工夫して子育てをバックアップする町内企業に対して助成などの支援を行う。	住民課	実施中	子育て協力企業認定により、子育てしやすい環境が生まれてきている。引き続き事業を推進する。
			10【拡充】	イクメン育成事業	父親による絵本・紙芝居の読み聞かせ、子育て参加意識向上の研修を行う。	住民課	実施中	各保育所では、絵本の無料貸し出しを行っている。今後は、父親の育児参加についての啓発をより強化していく。
		子どもを産み育てるサポート体制の充実	11【新規】	乳児保育拡充事業	産後57日以降の乳児受け入れを実現するため、保育士等の確保及び施設の整備を行う。	住民課	実施に向け準備中(検討中)	保育士の確保ができなかったため、R1年度に保育士を確保し事業実施を目指す。
			12【拡充】	緊急搬送体制充実事業	産婦人科のある病院(県中央病院、医大、三次中央病院等)と町内医療機関の連携を強化し、緊急搬送体制の充実を図る。	飯南病院	実施中	産婦人科を有する病院と連携し診療にあたっている。島根大学からの派遣医師による隔週の産婦人科外来を実施している。
			13【拡充】	不妊治療支援事業	現在、県内でもトップクラスである充実した一般・不妊治療費の助成を継続して行う。	保健福祉課	実施中	一般も特定も実績が上がっている。今後も引き続き実施。
			14【検討】	小児診療拡充事業	島根大学医学部付属病院からの派遣医師により行っている週2回の小児診療を維持するとともに、総合医の充実により、小児科を含め幅広い診療への対応を図る。	飯南病院	実施中	島根大学からの派遣医師による週2回の小児診療を行っている。総合医が小児科を含めた幅広い診療に対応している。
			15【検討】	病児保育充実事業	病児保育の推進に向けて、施設型・訪問型など飯南町に適したあり方を検討する。	住民課	実施に向け準備中(検討中)	乳児保育を先行して体制整備を行っている。現在、実施場所の検討を行っており、併せて運営主体及び必要保育士等の確保について協議を進めている。
		施策4 子育て支援体制強化事業	16【新規】	子育て支援体制強化事業	子育てに関わる社協・保育所、子育て支援センター、教育委員会などが連携して事業を行えるよう体制づくりを行う。	住民課	実施中	社会福祉協議会・住民課・地域振興課・教育委員会など様々なセッションで子育てについて体制を整えている。
			17【新規】	3世代家族支援事業	住宅整備助成金事業の適用枠拡大などにより、3世代家族に対する優遇制度を構築する。	建設課	実施中	三世代同居者向けの住宅リフォーム助成を実施。

分野	基本方針	基本施策	施策番号	施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取り組み等					
分野	基本方針	女性の 出産・ 子育て の希望 をかな える	18	【拡充】ほっと。Cafe事業	子育て支援センターの実施する「ほっと。Cafe」を中心に、保健師、助産師による相談、指導体制を充実する。	住民課	実施中	引き続き事業を推進する					
				19	【拡充】ファミリーサポートセンター事業	子どもの見守りの場の充実を目的に、ファミリーサポートセンターを充実する。	住民課	実施中	引き続き事業を推進する				
					20	【拡充】夏休み居場所づくり事業	小学校長期休業中に労働等により保護者が昼間家庭にいない児童の居場所づくりを行う。	教育委員会	実施中	実施場所を来島小学校(体育館)とし、利用時間を1時間30分延長した。今後は赤名・志々地区での実施や利用時間の更なる拡充について検討を行う。			
						21	【拡充】放課後居場所づくり事業	小学生の放課後居場所づくりの支援を充実する。(放課後子ども教室)	教育委員会	実施中	H30年度は志々地区に開設し、4地区での実施が可能となった。R1年度より指導員賃金を引き上げ、指導員確保に努めるとともに、利用時間の拡充に向けて取り組む。		
							22	【検討】子どもの遊び場事業	既存の公園、遊具等の利用ニーズを調査し、新規公園・遊具等の配置を含めた検討を行う。	住民課	実施に向け準備中(検討中)	既存の公園を中心に、利用者ニーズの調査を行う。調査結果により公園のあり方を定める。	
			23	【新規】保育士確保対策助成金	町内に勤務する保育士を確保し、保育環境及び子育て支援の充実を図る。	住民課	実施中	H30年度実績「医療及び福祉従事者確保対策助成金」修学助成2名、「医療及び福祉従事者確保対策就業支度金」就業助成2名に支給。					
				24	【新規】保育士短期インターンシップ助成	保育士養成学校に通う学生を対象として職場体験ツアーを実施し、町の魅力を発信しつつ町内保育所への就職を促す。	住民課	実施中	地域振興課と連携し、学校訪問を行い、助成事業及び就活ツアーの周知を行った。				
			25	【新規】子ども3人以上家庭応援事業	多子世帯の経済的な負担を軽減するため、こども3人以上家庭を対象としてプレミアム商品券、クーポン券などを発行する。第3子以降の子育て世帯に対し、給付金を交付することで保護者の経済的負担の軽減を図る。	住民課	実施中	子育て支援プレミアム商品券はH27年度に実施済み給付金は平成28年度から実施しており、引き続き事業を継続する					
				26	【拡充】就学支援事業	小学校、中学校における就学援助(支援)制度を拡充する。	教育委員会	実施中	H28年度に制度拡充済み。今後も必要に応じて拡充の検討を行う。				
					27	【拡充】子ども医療費無料化事業	子どもに関わる医療費を中学卒業まで無料化する。	保健福祉課	実施中	今後も引き続き実施。一方、医療費が年々増加傾向であり、その対策も必要。			
						28	【拡充】保育料軽減事業	保育料を国基準の半額、第2子半額免除、第3子全額免除とする。	住民課	実施中	第1子目半額以下、2子目1/4以下、3子目無料としている。総合戦略の計画以上の対策を行っている。		
			分野	基本方針	地域資源の掘り起こし・PR	29	【新規】飯南農業魅力発信事業	安全・安心な農畜産物、「健康(まめ)・豆」な農産物の生産地としてのPRを行う。	産業振興課	実施中	安心・安全な農産物として、エコロジー米を中心にトマト、パプリカ等の販売促進をおこなっている。		
							30	【新規】飯南魅力発信体制強化事業	飯南町の魅力を分野横断的に発信するための体制「(一社)飯南町観光協会」を外部専門家、企業団体、町民有志により組織する。	産業振興課	実施中	飯南町観光協会において、町内の旬な情報(イベント、新商品開発)や四季の移り変わりなど、町内の情報を一元的に情報発信している。引き続き推進する。	
								31	【拡充】ふるさと納税充実事業	飯南町の魅力発信や地場産業の発展として効果的なふるさと納税の充実・魅力化を図る。	地域振興課	実施中	創意工夫と返礼品の拡充や情報発信を引き続き行う。
									32	【拡充】『さとやまにあ』充実事業	『さとやまにあ』を中心にSNS等と連動して、森林セラピーをはじめ、レジャー、農業体験など、飯南町での遊び方、イベント情報等を発信する。	産業振興課	実施中
33	【拡充】R54魅力発信事業	「人であつた国道54号」をコンセプトにした国道54号活性化アクションプラン推進協議会の活動や、様々な団体による取り組みを繋ぐとともに、国道54号の魅力発信を継続的に支援する。								地域振興課	実施中	平成30年度はスノーキャンドル事業では町内各地のグループに加えて三次市布野地区とも連携し、54号線沿線のイベントとして取り組んだ。今年度は、町の情報サイトなどを製作する予定。	
34	【新規】「ふるさとだより」事業	飯南町出身者に、町内の情報をリアルタイムに発信する「ふるさとだより」を整備し、双方向に情報交換できる仕組みづくりを構築する。				地域振興課	実施に向け準備中(検討中)	メールマガジンの配信を実施。今後は、より効果の高いSNSとHPでの発信を検討中。					
	35	【新規】UIターンの魅力発掘事業				UIターン者が飯南町を選んだ理由を調査・取材し、パンフレットやHPへの掲載を通じてPRする。	地域振興課	実施中	定住HPを運営中。引き続きパンフ等の制作は検討中。				
分野	基本方針	地域魅力の発	35	【新規】UIターンの魅力発掘事業	UIターン者が飯南町を選んだ理由を調査・取材し、パンフレットやHPへの掲載を通じてPRする。	地域振興課	実施中	定住HPを運営中。引き続きパンフ等の制作は検討中。					

飯南町総合戦略 施策実施状況報告書(H31.5時点)

全体

資料6

分野	基本方針	基本施策	施策番号	施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等
政策2 飯南町への新しいひとの流れをつくる	1 掘・発信	UIターンの推進に向けた情報発信	36	【新規】 飯南子育て情報発信事業	1ヵ月検診、予防接種、ほっとカフェなど飯南町で子育て環境の魅力を、施策の紹介と合わせて子育て家庭へのインタビューなどを通じて発信する。	保健福祉課	実施中	今後も引き続き実施。
			37	【拡充】 ハローワーク活用事業	ハローワークでの求人情報のオンライン提供を活用し、地域求人情報を発信する。	地域振興課	実施中	ハローワークインターネットサービスを利用し、求職者、求人情報のマッチングを行いながら定住ホームページで定期的に町内求人情報を掲載している。
			38	【拡充】 雲南雇用対策協議会活動事業	ハローワーク等の関連機関や近隣市町との情報共有や業務連携を図り、圏域一体で地域の魅力アップを図る。	地域振興課	実施中	情報交換会、勉強会を実施し、相互のスキルアップを図っている。
			39	【新規】 求人情報魅力化事業	あふれかえる求人情報の中から町内の求人情報に注目してもらうため、町内企業を対象とした研修の実施や、求人情報作成の支援をする。	地域振興課	実施中	町内企業を対象に人材確保セミナーを開催し、求人票作成のコツなどの研修を行っている。
			40	【拡充】 首都圏への情報発信事業	首都圏でのUIターンフェア、しまね留学ツアーなどを通じて、地域求人情報を発信する。	地域振興課	実施中	首都圏及び関西圏での移住フェアに年間10回程度参加し、情報を発信するとともに、相談に応じている。
			41	【新規】 人材輩出機関情報提供事業	「人材確保支援センター」を設置し、県内外の大学等に対し、町内の求人情報や企業情報を提供する。	地域振興課	実施中	県内外の学校を訪問し、町内の求人情報や企業情報を提供するとともに就職先の傾向などの情報収集も行っている。
			42	【拡充】 飯南町無料職業紹介所拡大事業	町広報誌やハローワーク窓口を利用して周知し、利用者の拡大を図り、町内求人への充足を図る。	地域振興課	実施中	近年の人手不足を背景に本事業の周知と拡充を進め、広報誌を通じ求人情報を提供する。
	施策2 飯南ファンの拡大	地域資源を活かした集客・交流事業の支援	43	【新規】 三十路式事業	UIターンを考える世代(25～35歳)を対象とした交流会を開催する。	地域振興課	実施中	30歳を対象とした交流会を毎年実施。実行委員で運営する形式をとり、企画から運営までその世代に担っていただいている。
			44	【新規】 飯南まるごと体験事業	地域資源を活用した体験型ツアー(農業体験等)の企画・実施により町外からの誘客を図るとともに、地域住民のレクリエーションの場の充実を図る。	産業振興課	実施中	観光協会により体験型のツアーを造成し、12企画を販売した。
			45	【拡充】 森林セラピー魅力化事業	多様な主体の連携による森林セラピー事業の魅力化を推進する。	産業振興課	実施中	観光協会によりセラピーツアー造成販売。また、セラピーの魅力向上させるため、関連商品としてシャワークライミングプログラムの構築中。地域おこし協力隊による町民セラピーの推進を行った。
		中山間地域の魅力を深く学ぶ場の創出	46	【新規】 島根大学連携事業	離島・中山間魅力化事業をモデルとして、島根大学・海士町と連携し、教育を通じて飯南町で活躍できる人材を育成する。	教育委員会	実施中	H28年度、H30年度に地域おこし協力隊各1名が連携事業「ふるさと魅力化フロンティア養成コース」に参加。R1年度で事業終了予定。
			47	【拡充】 中山間地域で活躍する人材育成事業	地域づくり事業が活発な谷笑楽校等の地域活性化の取組みを学び、地域で活躍する人材を育成する講座を開催する。	地域振興課	実施中	平成30年度に全6回の人材育成塾を開催し、町民及び役場職員あわせて24名の参加があった。今年度についても同様に開催予定。
			48	【拡充】 中山間地域研究センターとの連携事業	中山間地域研究センターの協働により、人材育成講座、商品開発などの展開を検討する。	産業振興課	実施に向け準備中(検討中)	中山間地域研究センターとの意見交換会や、職員向け研究発表の実施など、引き続き連携を強化してゆく
	UIターンの受け入れ体制の充実	49	【新規】 飯南民泊推進事業	飯南のありのままの生活を体験でき、地域での受入意識を高める民泊を推進する。	地域振興課 産業振興課	実施に向け準備中(検討中)	【地域振興課】 島根県住宅宿泊事業の適正な実施の確保に関する条例等の施行に伴い、民泊に対する基準が高くなっていることから、受け入れ側の負担も考慮し、検討する必要がある。 【産業振興課】 赤名市街地内での空き家を民泊としての活用を検討した。結果としては実現に至っていない。	
50		【拡充】 飯南くらし相談員事業	定住支援センターを移住・定住の総合窓口として、飯南町での暮らしに関わる医療、職業、住環境、悩み相談などの世話役を担う専属の定住相談員を増員する。	地域振興課	実施中	平成29年度から1名増員し、定住推進員としての嘱託職員1名を含め、4名の体制としている。また、定住担当も定住支援員を県から委嘱されている。		
51		【拡充】 地域おこし協力隊受け入れ事業	地域おこし協力隊の制度を活用し、地域づくりを志す若者の受け入れを積極的に行う。	地域振興課	実施中	6月現在9名が活動中。さらに3名を募集している。		
52		【検討】 高度技術者確保事業	高度な技術者の任期付職員採用を検討する。	総務課	実施中	定住・人材確保支援センター・ふるさと納税など専門性の高い職に就いて任期付職員で対応している。それぞれの業務において成果も上がっており今後も引き続き高度な技術者の任期付職員の採用に取り組む。		

飯南町総合戦略 施策実施状況報告書(H31.5時点)

全体

資料6

分野	基本方針	基本施策	施策番号	施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等			
	施策3	定住の促進	Uターンに関する経済的支援	53【新規】	Uターン者受け入れ推進事業	各集落でUターン予備軍を抽出し、Uターン者を迎え入れた集落に対して奨励金を交付する。	地域振興課	実施中	集落支援助成金を創設している。		
				54【新規】	新社会人応援事業	地元企業に就職する学卒者の奨学金返還を減免する制度を創設する。	教育委員会	未実施	奨学金の返還免除ではなく、給付型奨学金制度の創設について検討中。		
				55【新規】	通勤助成事業	町内へUターンし町外へ通勤する者に対して通勤費を一部助成する。	地域振興課	実施中	町外通勤助成金を活用し、毎年4名程度がUターンしている。		
				56【拡充】	新卒採用応援事業	町内企業が新卒者を採用することに関する助成制度を拡充する。	地域振興課	実施中	今年度、人材確保対策支援事業補助金として、有料人材紹介手数料など人材を確保するために必要な経費の一部を助成する制度を創設。		
		住環境の整備	57【拡充】	定住促進賃貸住宅事業	40歳以下の夫婦を対象に、セミオーダー方式で希望にそって一戸建て賃貸住宅を建設し、25年居住後に土地建物の所有権を譲渡する。	地域振興課	実施中	現在23戸を建築し、87人が入居中。			
			58【拡充】	住宅整備助成金事業	飯南町内で、住宅を新築・増築・購入する場合、借入金利子額の一部(上限50万円)を助成する。	地域振興課	実施中	住宅整備助成金を運用中。毎年3名程度が活用。			
			59【拡充】	用地確保・造成事業	定住促進住宅整備地の用地確保・造成を行う。	地域振興課	実施中	新たな用地の確保を進めている。			
			60【検討】	遊休定住住宅活用事業	クラインガルテンや定住促進賃貸住宅の空き部屋をモデルルームや週・月単位での利用ができるよう整備し、お試し住居を推進する。	地域振興課	実施中	クラインガルテン、定住促進賃貸住宅ともに空き部屋はないが、お試し暮らし住宅を整備している。			
			61【検討】	都市部からの高齢者受入事業「日本版CCRC」	姉妹都市等都市部からの高齢者の移住受け入れに向けて、健康状態に応じたケア環境の整備と、地域への定着が実現するプログラムを含めた仕組みの検討を行う。志津見地区の滞在型市民農園「クラインガルテン」の方式を参考にする。	企画財政課 地域振興課	未実施	現在の定住対策にて効果が表れており、まずは効果が出ている施策を中心に受入対策を行う考えである。高齢者受け入れは、小さな拠点对策や集落実態調査を踏まえて高齢者が移住しやすい体制等を検討する。			
			施策1	夢と希望の持てる飯南農業の実現	新規就農者の確保・育成	62【新規】	園芸リースハウス事業	新規就農者の初期設備投資を軽減する「園芸リースハウス制度」を創設する。	産業振興課	実施中	H30年度は、上赤名で4棟、頓原で6棟整備した。R1年度は整備予定なし。R2年度は現在整備に向けての調整中。
						63【拡充】	農業定住研修生事業	農業を志す飯南町への定住希望者を「農業定住研修生」として受け入れる。	産業振興課	実施中	これまで7名が研修を終了。H31から1名新規就農スタート。現在2名が研修中。
経営の安定化	64【新規】	循環型農業推進事業			カントリーエレベーター、木質バイオマスセンター等を活用し、循環型農業を確立・推進し、飯南米のブランド化を図る。	産業振興課	実施中	堆肥センターの大規模改修の成果が現れ、良質堆肥が製造されるようになり利用も増えてきている。木質バイオマスセンターについて早期再稼働に向けて協議を進める。			
	65【新規】	飯南きのこ生産拡大事業			きのこ生産施設のリニューアルにより、特用林産物の生産能力の向上をめざし、「飯南きのこ」のブランド化を図る。	産業振興課	実施中	H27年度に施設整備、PR用のDVDを作成。人員不足もあり、生産量が中々拡大していないが、引き続き取り組む。			
	66【拡充】	農業法人設立支援事業			地域の担い手となって農地を守り、また、雇用の受け皿となる農業法人等の設立を促進する。	産業振興課	実施中	H31年4月に、「アグリドリーム小田」と「共栄寺沢」の2法人が設立された。			
	67【拡充】	畜産業再生事業			畜産総合センターの活用により畜産業の再生を図る。	産業振興課	実施中	実施中。引き続き推進する。			
			68【新規】	飯南ブランド構築事業	農林業を中心に飯南町ブランド化を図り、飯南町オリジナル商品の開発・PRを行う。ブランド化、商品開発にあたっては特任機関を設置し、外部講師を招聘する。	産業振興課	実施中	出雲大社神楽殿の大しめ縄の架け替えに因み、関東地方を中心にお米と雑貨を販売する「AKOMEYA」と共同し、飯南米を「出雲国お福米」として販売を行った。			
			69【新規】	健康特化食品生産事業	アレルギー・アトピー等の改善食物の調査を行い、健康に特化した食品の生産・販売を推進する。	産業振興課	事業凍結	エリーゼ事業休止中のため事業停止中。			
			70【拡充】	ガイド育成事業	観光協会によるガイド育成、各種体験プログラムの整備。	産業振興課	実施中	森林セラピーガイドの養成講座を実施し、6名が受講した。シャワークライミングについてもガイド養成を実施し、5名の受講があった。			

飯南町総合戦略 施策実施状況報告書(H31.5時点)

全体

資料6

分野	基本方針	基本施策	施策番号	施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取組み等
政策3 飯南町でいきいき暮らせる「しごと」をつくる	施策2 観光関連産業の拡大	観光消費額を高める商品開発	71	【拡充】サイクリングロード整備事業	国道54号のサイクリングロード整備やサイクリングに特化した道路を整備し、観光誘客を推進する。	産業振興課	実施中	30年度は例年と同様に国道54号を活用した、ヒルクライム、クライムライト、ゲルクライムを実施した。また、観光協会により、自転車を活用したミニサイクリングを11回企画した。
			72	【拡充】広域連携(観光)事業	雲南圏域、三瓶山圏域など、広域的な連携による観光振興の取組みを充実する。	産業振興課	実施中	うなん観光ネットワーク協議会、三瓶山広域ツーリズム協議会の一員として連携した観光振興を継続している。雲南圏域での取組みとしては、日本遺産を活かしつつ、新たにインバウンド対策を実施。三瓶エリアでは、国立公園満喫プロジェクト、全国植樹祭を見据え、情報発信に力を入れている。
			73	【拡充】海外観光客誘客事業	日本酒、ウエディング、スキーなどの資源を活かした外国人観光客の誘客事業を継続・拡大する。	産業振興課	実施中	観光協会、うなん観光ネットワークによる台湾、香港を中心とした営業活動を実施しているが、外国人観光客は減少しつつある。
		宿泊者数を増やすための取組み支援	74	【拡充】宿泊観光商品開発事業	宿泊付き観光商品の開発・販売を行う。	産業振興課	実施中	森のホテルもりのすと森林セラピーのセットプランで商品を販売しているが、それ以外の宿泊プランは、企画するも催行に至らない場合が多い状況。
			75	【拡充】合宿受け入れ推進事業	スキー場や体育施設等を活用して合宿の受け入れを推進する。	産業振興課	実施中	スキー場を利用した修学旅行等の利用推進については、スキー場指定管理者により随時実施している。友好交流都市の長崎県大村市との交流によるスキー場利用を更に発展させ、修学旅行等を誘致したい。
			76	【検討】宿泊魅力向上事業	宿泊滞在者の増加を目的に、宿泊施設の整備等の検討を行う。	産業振興課	実施に向け準備中(検討中)	R1年度に調査事業を実施することとしている。
	施策3 「しごと」場の維持・創出	若者の起業、就業支援	77	【新規】ビジネスコンテスト事業	地域資源、遊休資源などを活用した新商品、新産業の創出を行う個人又は中小企業等に対して補助金を交付する。次世代を担う若年層の起業や学生を対象としたビジネスコンテストなど実施する。	産業振興課	実施中	平成30年度も1件応募があった。不採択となったが、その方は、町内で事業を始めている。
			78	【新規】遊休施設活用事業	遊休公共施設を活用した創業を支援する。	産業振興課	未実施	平成30年度は、公共施設を活用した創業実績は無いが、引き続き、取り組む。
			79	【拡充】町内企業支援事業	町内の企業支援を目的に、相談会の充実、ビジネスマッチングの機会創出の取組みを行う。	産業振興課	実施中	産業支援センターにて企業相談を行う体制が整備されている。県ブランド推進課、しまね産業振興財団等、関係団体と連携し推進する。
			80	【拡充】後継者確保事業	地域おこし協力隊等の配置により、第2創業、後継者の育成・確保を推進する。	産業振興課	実施中	指定管理施設や公的団体などにおいては、後継者対策として協力隊制度が導入されているが、後継者が必要な民間企業には、協力隊を配置する仕組みができておらず、後継者対策が進んでいない現状もある。
		里山の暮らしを守る仕事づくり	81	【拡充】生活支援充実事業	除雪、草刈、消防など、地域生活に関わる細やかな仕事を担う団体を育成し、継続的な地域生活が行える仕組みを構築する。	地域振興課	実施中	平成30年度から始まった集落実態調査を実施した自治区ごとに地域課題解決に向けた取組みが徐々に始まりだしている。赤名地区においてはサロンの立ち上げやスノーレンジャーなどの取組みが始まった。
			82	【新規】「森林」を活かした地方創生事業	森林資源を活用し事業化するために民間企業と連携して計画策定、事業化の推進、人材育成を進める。	企画財政課 産業振興課	実施中	【企画財政課】 町内外、県外を含め、約90社(団体)に対し事業所ヒアリングを実施。関係団体の連携状況や繋がり、有している機能を把握しつつ、地域商社設立に向けて検討をしていく。 【産業振興課】 企画財政課と連携し、林業魅力化プロジェクトを立ち上げ、林業の魅力化について推進中。また、森林経営管理法もスタートし、森林環境譲与税の活用等、今後も引き続き推進する。
			83	【新規】人材不足業種就労支援事業	人材が不足している業種(建設業・福祉関係等)への就業を目指す学生への助成金を給付する。また町内で建設業・福祉関係等の人材不足業種に就職する者への支度金を給付する。	地域振興課	実施中	医療・介護人材には支度金制度が設置されている。今後は、他の職種を含めた給付型の奨学金制度を検討する。
			84	【拡充】企業誘致推進事業	飯南町の資源を活用した企業の誘致、創業を推進する。	産業振興課	実施中	農業分野でダイセンアグリ樹企業参加があった。本社(大せん産業)は鋳物の商社であるが、取引先の紹介もいただきながら、古市工業団地への企業誘致を進めていきたい。創業については、しまね産業振興財団の専門員を派遣しながら、支援を行っている。
			85	【検討】ワーキングシェア事業	子育て世代の女性やリタイア後の雇用創出を目的として、町内企業の連携により、ワーキングシェアリングの推進に向けた短時間勤務、住宅勤務、副業などの実現可能性について検討する。	地域振興課	実施に向け準備中(検討中)	今後、企業の状況を調査し、実現可能かを検討する。

分野	基本方針	基本施策	施策番号	施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取り組み等	
			86	【検討】 公共サービス民営化事業	行政業務のアウトソーシング化による雇用拡大、行財政の効率化を目的に、公共サービスの民営化に関する提案募集制度を構築する。	総務課	実施に向け準備中(検討中)	現在、簡易水道や下水道の維持管理について一部委託は行っているが、全面的なアウトソーシングについては必要な経費と雇用効果、職員の削減効果などについて検討を行っている。	
政策4	安心・快適に暮らせる「まち」をつくる	施策1 安心して長生きできる環境づくり	医療・福祉・介護人材の確保	87	【拡充】 医師確保事業	島根県から飯南病院へ配属していただく医師は、現員数以上を要望するとともに、独自の募集も継続する。また、県内外の大学との連携により医療・福祉・介護職の人材を確保する。	飯南病院	実施中	人材確保について実施中。引き続き取り組む。
				88	【拡充】 医療・介護人材育成事業	医師・看護師・歯科衛生士・介護士・保健師・薬剤師など医療・介護従事者を目指す学生への助成金を給付する。また町内で看護師・介護士として就職する者への支度金を給付する。	保健福祉課	実施中	看護師は確実に定着、その他の職種については採用時の課題等(キャバ)があり今後に向けて課題整理や制度の見直しが必要
				89	【拡充】 総合医研修受入事業	総合医の研修受入を推進する。	飯南病院	実施中	総合診療に係る初期臨床研修及び専門医研修プログラムの協力施設として、研修医の受け入れを行っている。
				90	【拡充】 若手医師研修事業	経験の浅い医師が行う臨床研修の継続を要望する。	飯南病院	実施中	県内の病院等と連携し、引き続き推進する。
				91	【拡充】 医療人材適正配置事業	医師・看護職員の事務作業補助者を効率的に配置する。	飯南病院	実施中	医師・看護職員の事務作業補助者として、医療クラークを配置している。また、看護業務については看護助手を配置している。
				92	【検討】 医療・介護人材確保事業(見直し案)	町内の福祉施設協議会(福祉施設の経営者等参画)に対し、人材確保・人材育成にかかる事業費の助成を行う	保健福祉課	実施中	小規模事業所ではできない事業であり、特に人材確保については協働して取り組む。
				93	【拡充】 地域包括ケアシステム構築事業	保健、医療、介護・福祉の各サービスを一体的に提供する地域包括ケアの充実を目的に設置した飯南町版地域包括ケアシステム「地域包括ケア推進局」の活動継続・拡充、地域包括ケア体制の構築・拡充を行う。	保健福祉課	実施中	保健医療福祉分野だけではなく、産業、教育、生活基盤の確保など、最期まで飯南町に住み続けることができるまちづくりに取り組む
		94	【拡充】 訪問看護充実事業	家庭での生活を希望する高齢者や疾病のある方などのニーズへの対応として、訪問看護の充実を図る。	飯南病院	実施中	訪問リハビリとともに実施している。		
		施策2 田舎だからそキラリと輝ける教育環境づくり	特色あるキャリア教育の推進	95	【新規】 教え合い学び合い事業(異校種異年齢交流事業)	コミュニケーション能力の向上、学年の枠を超えたつながりの構築に向けて、上級生が下級生を教え合うプログラムを整備する。	教育委員会	未実施	プログラムとしては未実施であるが、学校における活動の中で交流事業としては実施している。
				96	【新規】 飯南仕事体験事業	子ども、学生時代からの勤労観の育成、地元企業の理解促進、多世代とのコミュニケーション促進、起業精神の育成を目的に、町ぐるみで職場体験・インターンシップを充実する。	教育委員会	実施中	町ぐるみ職場体験事業として中学校2年生を対象に実施中。今後も受入先事業所の拡充に向けて取り組み、町内事業所や産業に対する理解を深め、将来の担い手育成に努める。
				97	【拡充】 国際人育成事業	国際的に活躍できる人材の育成を目指し、英語をはじめとした外国語教育に注力するとともに、ICT教育の充実を図る。	教育委員会	実施中	小中学校に計画的にICT機器を整備し、学習の中で有効的に活用し、学力育成をめざす。
				98	【拡充】 飯南町スター・サイエンス・ラボ事業	保小中高大および地域の連携により、理理工系人材の育成に向けた多様な教育活動を展開する。理化クラブの推進と併せて、ICT教育の充実を通じた子どもたちの主体的な学びによる確かな学力の育成、国際化・情報化社会を生き抜く豊かなコミュニケーション能力の育成を図る。	教育委員会	事業凍結	R1年度見直しによりスター・サイエンス・ラボとしては事業凍結。今後は学校の教育課程の中で取り組む。
				99	【拡充】 飯南高校魅力化事業	飯南高校魅力事業を拡充し、生徒募集、生命地域学など特色ある教育を推進する。	地域振興課	実施中	平成31年3月現在で生徒数180人というKPIは達成。今後は減少傾向にある町内中学に対する広報活動に注力する。
100	【拡充】 飯南町学習支援館事業			学外での学習環境の充実に向けた公営塾の体制強化、充実を図る。	教育委員会	実施中	H28年度から中学生の夏期・冬期講習を開設、H30年度は長期休業中の小学生講座も開設した。今後も児童生徒や保護者の要望に応えられるよう、内容の拡充に努める。		
施策3 ふるさと教育の推進	ふるさと教育の推進	101	【新規】 子ども議会事業	地域課題の解決に向けた子どもの参画機会の創出を目的に、子ども議会を開催する。	教育委員会	事業凍結	子ども議会に代わるものとして、小学生から高校生までが参加する「ふるさとシンポジウム」を開催し、地域へ参画・貢献しようとする意欲を育む。		
		102	【新規】 飯南の思い出づくり事業(教育魅力化事業)	飯南の資源を活かして、町内・町外の人々と町内の子どもとの多様な交流、体験機会を創出する。町外在住児童を町内に招き、将来的な定住に向けた取り組みを行う。(教育移住)	教育委員会	未実施	高校では「森の学校サマーツアー」実施中。小中学校では教育魅力化事業の中で今後検討する。		
		103	【拡充】 スクールサポーター事業	特別支援教育に係るスクールサポーターを配置する。	教育委員会	実施中	今後も必要に応じてサポーターを配置し、学校教育を支援する。		

分野	基本方針	基本施策	施策番号	施策の事業名	施策の内容	担当課	実施状況	現状と今後の取り組み等
施策3	不便を感じない生活基盤の整備	「小さな拠点」の形成	104	【拡充】 協働のまちづくり推進事業	公民館区単位での多世代交流・多機能型拠点を形成し、協働のまちづくりを推進する。	地域振興課	実施中	小さな拠点の形成数は2であり、未達成。しかし、平成30年度から始まった集落実態調査を実施した自治区ごとに地域課題解決に向けた取り組みが徐々に始まりだしている。赤名地区においてはサロンの立ち上げやスノーレンジャーなどの取り組みが始まった。
			105	【拡充】 次世代を担う人材育成事業	自立的・持続的な地域社会形成のため、公民館を中心とした社会教育活動を推進し、次世代を担う人材を育成する。	教育委員会	実施中	各地域の特色を活かした公民館活動を実施するとともに、ふるさと教育・キャリア教育を意識した事業を展開し、地域の課題解決に向けて取り組む人づくりを支援する。
			106	【拡充】 道の駅機能強化事業	町内に2施設ある道の駅について、地域防災や地域情報発信など、複合的機能を備えた施設として整備する。	産業振興課	実施中	道の駅赤来高原には観光協会が事務所を構え、道の駅でイベントを開催するなど情報発信を行っている。道の駅頓原においても週末を中心に案内人を配置し観光客等の対応、町全体の情報発信を行っている。
			107	【拡充】 冬季宿泊施設事業	高齢者の安全・安心な生活支援を目的に、冬季高齢者宿泊施設の運営を継続して行う。小さな拠点と連携し「冬季の住まい」を検討する。	保健福祉課	実施に向け準備中(検討中)	来島の一か所だけでなく、他地域のニーズに合わせて対応していく。
		生活インフラの維持・改善	108	【新規】 インターネット環境充実事業	インターネット環境整備による教育・医療・介護などへの活用、地域魅力の向上、ICT企業誘致を目的に、CATV超高速情報通信網を整備する。	総務課	実施中	H30年度赤来地域のCATV通信網化が終了し、9月頃に100Mbpsプランを新たに設定予定。R元年度は頓原地域を着手予定。
			109	【新規】 生活交通のあり方検討事業	条件不利地域(無店舗・高齢化の高い地域)に対する買い物・移動支援の観点を含めた町民の移動手段の確保を目的に、町営バス運行見直しのための調査・検討等を行う。	地域振興課 住民課	実施中	【地域振興課】 ローソンボプラにて移動販売を実施中。引き続き推進する。 【住民課】 飯南町公共交通会議により生活路線バス運行について協議をしつつ運行計画を策定している。
			110	【新規】 公共交通等優待乗車券販売事業	運転免許証を持たない高齢者や障がい者等に対し、公共交通(生活路線バス・デマンドバス)や町内民間タクシーで使用可能な優待乗車券を販売し、利用者の移動手段の選択肢を広げることで移動手段を確保する。	住民課 保健福祉課	実施に向け準備中(検討中)	【住民課】 「運転免許返納者支援事業」と併せ、保健福祉課において事業内容及び財源の確保について検討中。 【保健福祉課】 公共交通と組み合わせた介護予防事業に取り組んでいく。
			111	【新規】 運転免許返納者支援事業	運転免許返納者に対し優待乗車券等の支援を行うことで、返納者の公共交通等の利用促進や福祉の向上を図る。	住民課 保健福祉課	実施中	【住民課】 交通安全協会の事業として運転免許返納者へ回数券等サービスを実施中。町の事業としては、保健福祉課で「公共交通等優待乗車券販売事業」と併せて検討中。 【保健福祉課】 後期高齢者、認知症高齢者の運転に対し免許返納を推進するための対策が求められている。公共交通担当部署や医療機関等と協議を行う。
			112	【検討】 飯南町へのアクセス整備事業	経由地ではなく目的地としての魅力向上を目的に、尾道松江線高野ICからのアクセス道整備や松江-飯南間のバス運行に関する調査・検討を行う。	住民課	実施中	観光とセットでダイヤ等整備するのが望ましいが、地域住民の利便性向上のための公共交通を整備した後に、調査を実施し、改善できる点があれば行う。